

平成27年度 加茂市・南蒲原郡家庭科部 活動報告

部長 伊藤奈津子

加茂市と南蒲原郡田上町とで一緒に活動することがなく、田上町教研は、家庭科部会がないため、加茂市小教研家庭科部の活動について報告する。

1 研究主題

米穀食品についての理解を深める。

2 研究の概要

農業研究施設の見学を通して、米穀食品の理解を深め、自校の取組に生かす。

3 研究の実際

(1) 実習日程 平成27年8月26日(水)
午後3時00分～4時30分

(2) 場 所 新潟県農業総合研究所
食品研究センター

(3) 参加者 家庭科部3名

(4) 見学内容

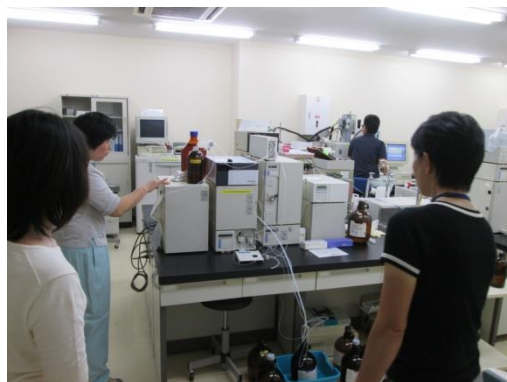
① 農業総合研究所の組織と業務について

長岡市にある農業総合研究所を中心に、県内各地に各種センターが設置されている。その中の一つである「食品研究センター」が加茂市にある。

このセンターは農業及び食品産業の復興を図るため、①安全・安心な県産農林水産物等の高付加価値加工技術の開発、②健康志向に対応した機能性食品の開発、③農産物・食品の品質評価、④高鮮度貯蔵・流通技術の研究開発、⑤ヘルスサポート食品素材の開発等5つの重要テーマに取り組むとともに、食品産業関係業界を通じて最新技術情報の普及活動、工場指導等を通じた技術改善の相談・指導活動、更には研究開発成果の学会等での発表や職務発明としての特許権の取得を行っている。

② 米穀食品について

センターは総務課と3つの科に分かれおり、その中に穀類食品科がある。今回の研修では、実験工場を見学させていただきながら、主に米の加工に関する研究について説明していただいた。普段何気なく口にしている米菓や米粉食品は、簡単に作ることができるものではないこと、時間をかけて行われた研究の成果であることを知ることができた。



4 成果と課題

- ・新潟県の特産物である米の研究センターが身近にあることに驚きと誇りを感じた。そして、米をできるだけたくさんの人に食べてもらいたい、いろいろな食品に取り入れたいという願いを感じることができた。
- ・当センターで学んだことは、家庭科だけでなく、総合、社会科などの学習でも生かすことができると考えられる。